

農業用燃料貯蔵タンクの維持管理について

石岡市消防本部

《油流出の危険性》

近年、農業用ハウス等で使用する燃料貯蔵タンクから、地震や老朽化のため油が漏れ河川等に流出する事故が発生しています。油流出事故は、火災の危険性が高まるだけでなく河川や地下水、土壌の汚染など自然環境に悪影響を及ぼします。

また、流出した油は回収が大変難しく作業には莫大な費用がかかり、事故を起こした人（原因者）が負担することになります。

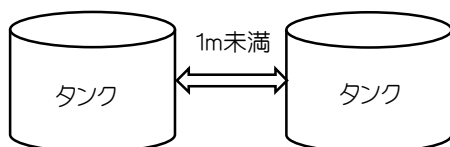
《貯蔵や取扱いには消防に届出（または許可）が必要です》

タンクの大きさや貯蔵する油種によって、石岡市火災予防条例（または危険物関係法令）の規制をうけるとともに届出（または許可）が必要になる場合があります。

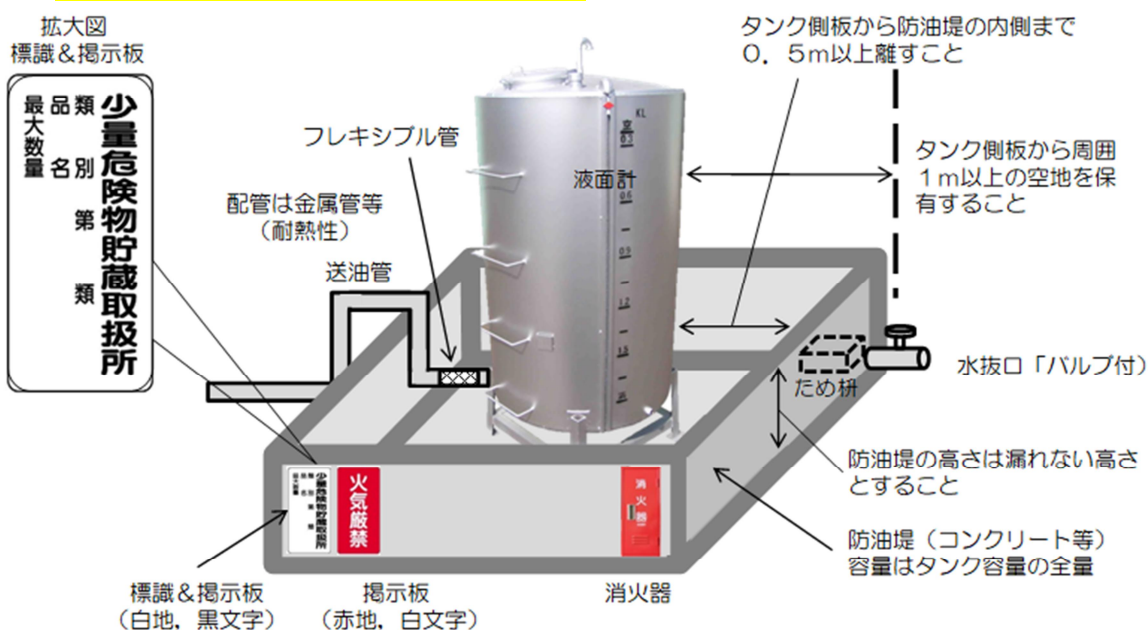
| 届出が必要な油種及び数量 | | 許可が必要な数量 |
|--------------|-----------------|----------|
| 灯油・軽油 | 200ℓ以上 1,000ℓ未満 | 1,000ℓ以上 |
| 重油 | 400ℓ以上 2,000ℓ未満 | 2,000ℓ以上 |

※タンクを2基以上並べる場合

タンク相互間1m未満の場合、数量を合算します。



《石岡市火災予防条例に基づく設置例》



《維持管理に関する注意事項》

- 1 タンク及び配管は腐食防止のため、定期的に塗装する。
- 2 配管やフレキシブルホース等に損傷・腐食があれば取り替える。
- 3 防油堤内に溜まった雨水等は随時排出し、排出時以外はバルブを閉めておく。
- 4 常に使用量と給油量を確認する。

《油が流出してしまったときは》

- 1 直ちに消防署へ通報する。 石岡市消防本部 代表 0299 (23) 0119
消防署へ連絡し状況を伝えましょう。
- 2 流出源を特定し、流出を止める。
バルブを締める。またはポンプを停止するなど、油の流れを止めましょう。
- 3 油の拡散防止対策をする。
油吸着剤やオイルフェンスを設置するなど油の拡散、回収に努めます。
- 4 流出量を把握し状況を記録する。
液面計で流出量を把握するとともに写真などを撮って、流出状況を記録する。
- 5 専門（回収）業者への相談
土壌汚染（河川流出）の可能性があるので速やかに専門（回収）業者に相談しましょう。

《油流出を未然に防ぐために》

- 1 定期的な点検と設備の更新
タンクの腐食や配管の劣化、ひび割れがないか定期的に点検し、必要に応じ設備を更新しましょう。
- 2 防油堤の設置
石岡市火災予防条例で防油堤が必要とされています。
防油堤を設置し、万が一の流出時に油が周囲に流出するのを防ぎましょう。
- 3 配管の地上化
地下埋設配管は腐食に気づきにくいいため、漏洩の確認できる地上配管への変更を検討しましょう。
- 4 適切な油管理
使用しない期間は油を抜き取るなどタンクや配管の油を徹底管理しましょう。

| | |
|------------------|---------------------------|
| 危険物全般について問合せ・相談先 | 石岡市消防本部予防課 0299 (27) 6125 |
| 石岡地区での問合せ・相談先 | 石岡消防署 0299 (23) 0119 |
| 八郷地区での問合せ・相談先 | 八郷消防署 0299 (43) 6491 |